



ヤングアダルト

YA本研究会だより 2022.7Vol.3



■ギリギリ

令和4年度第3回目のYA本研究会が7月10日（日）に開催されました。すでに気温は30℃を越え、暑い暑い今年の夏。それにもまして、アツ〜イ「ヒプリオバトル」が展開されました。バトルの後は、閉架書庫探検や、本の装備体験など、終了予定時間ギリギリでした。



■チャンプ本

『宝石商リチャード氏の謎鑑定』（集英社オレンジ文庫）辻村 七子/著
雪広 うたこ（イラスト） 2015.12 本館 YBF ツ

<内容>

酔っ払いに絡まれる美貌の外国人・リチャード氏を助けた正義。彼が敏腕宝石商と知り、日くつきのピンク・サファイアの鑑定を依頼する。その宝石が秘めた切ない“謎”がリチャード氏により解かれるとき、正義の心に甦るのは…？

<おすすめのポイント>

正義のつくったプリンをリチャード氏が「腹立つほどおいしい」と言っていた箇所、どんな味なのかすごく気になりました。食べてみた〜い★★★牛乳寒天もある（笑）

やっばさ〜
食べんと読めんよネー



♥ その他、紹介された本

『検索禁止』『ジュニア空想科学読本』『ようこそ実力至上主義の教室へ』
『MINECRAFT はじまりの島』『断章のグリム』『新謎解きはディナーのあとで』
『「水辺の楽校」の所くん』『この雨がやむまできみは優しい嘘をつく』
『おにぎりにはிரいたいやつよっといで』『ハリネズミの願い』
『国境で読み解くヨーロッパ 境界の地理紀行』

■中学生

前回に続き、中学生の紹介した本が、高校生の紹介した本を1票差で抑えてチャンプ本になりました。ビブリオバトルに、少し馴れてきたかな。😓

YA世代の好む本は、ライトノベルが主流ですが、じっくり読むYA向け文学や楽しい絵本も紹介されました。

ビブリオバトルの中で、『断章のグリム』を紹介した委員が「『断章』ってどういう意味が分かりますか？」と皆に問いかけました。あらすじを語るだけでなく、その小説を語る上で、大事なことを皆に問いかける姿に成長を感じました。小説の作者も**タイトル**には、様々な思いを込めていることでしょう。

また、「英検が早く終わったので」と駆けつけてくれたメンバーにもニッコリです。



■高校生

高校生になると、興味の対象がどんどん広がり、時には紹介できるかな？と思えるような危なげな本もあります。Newsにも敏感だし、ネット社会の闇も気になる。

「主人公が良い人かと思えば、情がない冷たい人にも思える」「キラキラした完全に善人！である主人公が苦手な人はぜひ読んで！」というような紹介もありました。そう、現実社会では、善も悪もあり、表も裏もある。現実に向き合いながら、自分達世代に合う本を探し、これからも、大いに本の世界を語ってほしいです。



次回の特集～今年の夏の長編はコレだ！～
乞うご期待



発行/糸島市立図書館